仲間増やし 女性部役員の取り組み

いい合

持のに大

き

ちたな

を

お

おをの話「願組だし年 さた金 の員仲 様も間 裁 1 判 月 子取增 をりや 3 紹組し 日 介ん月 を \mathcal{O} しで間 哑 Щ まいに す。ま女 会

0

B 7

と加諸い人

参

そ役 す。性 部

7

活

Ġ,

と年

分年

動者

年

金

者

部 しが で لح 7 号い L に 0 よた 大 り もかを 入た そ ŧ 切 方 の署 で う b 0 際名 て Þ لح 軽 L 11 か ろ、 たま再 が < 全 に そ 度い だ 員 声 が L た。加 2 名び山 さに を で を か 集 人い 入お 実 誰 携 の一年し 行け に加の住 け 帯 方と金 で入訴ま 7 る ま もはえい電がお て 方組け勇わクが今知た署 紙会元輪は多活ないき 力く 気たルり回っち名をい気 ŧ 動

支 番

ひし

7 る ま 6 ての ら賛 みも おのし人 い取 ま 楽加たのた つ同 0 て だ し入 拡 Ŕ 共 大 よ笑 4 7 済に < う 顔 行 事四や ŧ ま だ で で、季 サ 取 声 田 さ す 0] る カュ な

まと

< な 願 歩め り ま \mathcal{O} 者 3 り L 行 組 繋 ま れ て事 組 11 いに な す 組 分 合 す。 り、 ば頂に が くみ て私 L で 楽 サ 1) き、 楽は たやな いは 1 そ活 め活 L 人 が L が ま署 B 楽 ク す。 動み < \mathcal{O} で動 b 名 で し の数も ル لح 用出も す。 なみ を 私 「人を機 7 てに保時自れ転

まに読関 < ŧ 入険は転る車 に だ る り っん 紙 う ょ 断車 ので お近 たで、 入でに さた 1 り 5 共 仕 誘所 思 っ電載 いい内れ 済 事 て話 年に ま か 容 ま を し方 0 0 ?る 7 をた 組し 紹 まを 5 \mathcal{O} L 金 通 < よく 私 合 た 介。 者 と 良た 0 L にねれの た Ο 加いが 組て た 入 そ合お た近 В 入 共 後 友 況 会 ののら 自 組 し済 日

リアルとオンラインの併用で開かれました



年金者組合 京都府本部 女性部発行 2022年 12月15日発行 (第182号)

「たすけあい 介護サービス」

年金者組合員は 介護保険制度を利 用した福祉用具使 用時の利用者負担 分(1割)の助成 を受けられます。 ベッド、車いすな ど13種類。まずは 相談してください。 受付窓口

03 - 6256-8967

·全労連共済 共済事業会

日本フロンティア

女 第 性 3 部 2 定回 日期京 大 都 수 会 総 評

席開 しか 2 لح てれ月 働 4 交 7 流 け 組教 る 合 文 た 健 2 \mathcal{O} 康 0 ン で人タ 方 生が 針

出で

1

条根ジちを 守絶ェま決 採れなンも定 ダれし 択 Fr, のにー ま 声取平運 L をり 等 動 強組 た。 み、 ハ最同 \otimes ラ 賃 時 ょ ス引に う 憲メ لح き 法ン 上い \mathcal{O} トげの 宣 9

高齢者大会in京都

日本高齢者大会in京都が11月23、24日に開催され、全体会と5つの学習講座、11の分科会などに全国 から延べ3,394人が参加して学習、交流を深めました。

全体会

24日、ロームシアター京都で全体会が開かれ ました。オープニングでは茂山社中の皆さんに よる狂言「蝸牛」。笑いや拍手ありで面白く楽 しかったです。

山極壽一先生の講演では、ゴリラは3年間授 乳し大切に育てる、そしておばあちゃんゴリラ を大切にするという信頼と尊敬の関係がある。 人間の社会では、多様な祭りや催事があり、高 齢化社会を活性化させ過去の文化に新しい文化 を積み上げていく。いま日本で着物を着てお茶、 お花の文化がいまでも続いているのは、おばあ ちゃんがいてくれるから。若い世代に文化を伝 えてくれるおばあちゃんを大切にしましょうと いうことが私には印象的でした。

最後に、豊かな高齢期を目指して運動を勧め ようとアピールと「高齢者人権宣言」を採択し ました。 (高橋)

した。

た。

たくさんの参加者を期待し

ています。

先のことは分かりませんが、

分科会 「健康で丈夫で長生きするために」

大切な口の健康"心の出口命の入り口"と 題して小澤力歯科医師の話を聞きました。

健康と要介護状態の中間をフレイルといい、 体力、認知機能、筋力の低下が始まります。 この機能低下に早く気づいて適切な対応がと れるかどうかで健康寿命の長さに影響を与え ます。オーラルフレイルとは口から始まる機 能低下を言います。口は豊かな表情を作りま す。食べる、飲む、吐き出す、息を吸う・吐 く、声を出すなど大事な働きをしています。 当たり前に使い続けるため、口腔機能を保ち たい。そして歯も大切に。寝る前の歯磨きが -番良い、唾液が少ない夜に雑菌が増えるか ら、とのこと。分かりやすかったです。

(西田)



放送界について話す古住さん

分科会「メディアの現状をどう見るか」

地元のKBS京都(古住公義さん)と京都新聞(日比 野敏陽さん)のお2人からお話がありました。

KBSでは市民に参加してもらいながら地域の文化を 発展させることを目的に、15分の放送枠を市民が買 い取り市民が発信していること、番組審議会に市民 代表委員を確保していることが報告されました。京 都新聞からは、市民の新聞離れが進み最盛期の6割 くらいに減っている、そのため人件費節減で記者が 減り、特に地方では「行政のなれあい」「議会の少 数者排除」といった権力監視が行き届かなくなった と話されました。

そして番組や記事に対して苦情は来るがお褒めの 言葉は少ない、良いと思ったものには「良かったと 言ってもらえると励みになる」とのことでした。

(矢吹)

中京支部

が上がりませんでしたが、 だと思っていました。 ク ル が できま た

支部ではたくさんのサークルがあり楽しそう 以前からお食事会はしていましたが、 「ちぎり絵&絵手紙」をすると決めま 中京では、 会議をして なかなか声 「編み 他